いなほの子どもを育てる

校長　鈴木　清

本校は令和６年度に創立１５１周年を迎える歴史と伝統のある学校です。
東部地区のほぼ中央に建てられた校舎に学ぶ子どもたちは全校生で４６人。教職員は１２人。
保護者や地域の方々の温かくしっかりとした支えと、健やかな成長への大いなる期待を受けながら元気いっぱい生活しています。
今年度は、２・３年生、５・６年生、特別支援学級（ふれあい学級）が複式学級、それ以外の学年は単式学級となっています。小規模校の「強み」を生かし、教職員が心を一つに、子どもたちの無限の可能性を引き出し、皆様の期待に応えるべく尽力してまいります。
今年度も、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<学校教育目標>

○心の豊かな子ども　　○進んで学ぶ子ども　　○たくましい子ども

学校教育目標の達成に向け**「いなほの子ども」**をめざす子ども像として掲げ、取り組みます。

<めざす子ども像>　「いなほの子ども」

キーワード；**「自分事」～気づき・考え・行動する～**

い	～	**いきいき**	思いや願いを持ち、いきいきとチャレンジする子ども
な	～	**なかよく**	考えをしっかりと伝え合って、高め合う子ども
ほ	～	**ほこりを持って**	自信を持って伸びようとする子ども

「いなほ」という言葉は、本校の学校文集（昭和４４年創刊）につけられた名前ですが、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」　～ 豊かな田園地帯に建つ本校の子どもたちに対する保護者や地域の方々の願いが込められた言葉です。それ以来、その願いは今も変わることなく、本校の教育活動には「いなほ」という言葉が冠され、５０年近く大切に受け継がれてきました。

「いなほの子ども」は創立１４０周年の年に、これからの子どもたちに期待する姿として、また、学校と家庭・地域が一緒になって育てていきたい子どもの姿として設定されました。

今年度も継承してまいります。

<学校経営の方針>

◆「自立の力」「共生の心」「誇り」を持った「いなほの子ども」の育成

◆日々の授業の充実

◆ＳＤＧｓを意識し、地域のよさを感得する教育活動の充実

◆持続可能で信頼される学校づくりに向け、評価を生かした教育活動の改善・充実